

2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ニーズウェル 上場取引所 東
 コード番号 3992 URL <https://www.needswell.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 元
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 新井 千波 TEL 03-6265-6763
 半期報告書提出予定日 2026年5月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年9月期中間期 | 5,206 | 3.4 | 608 | △17.1 | 621 | △16.3 | 406 | △17.2 |
| 2025年9月期中間期 | 5,034 | 4.3 | 734 | 5.3 | 742 | 4.4 | 490 | △3.6 |

(注) 1. 包括利益 2026年9月期中間期 431百万円 (△19.7%) 2025年9月期中間期 537百万円 (△2.1%)
 2. 2026年9月期中間期においては、株主優待費用を計上しております。

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年9月期中間期 | 10.73 | — |
| 2025年9月期中間期 | 12.95 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年9月期中間期 | 6,455 | 4,755 | 73.5 |
| 2025年9月期 | 6,513 | 4,773 | 73.1 |

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 4,745百万円 2025年9月期 4,762百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年9月期 | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |
| 2026年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2026年9月期（予想） | — | — | — | 12.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,000 | 9.6 | 1,380 | 19.4 | 1,380 | 18.0 | 920 | 3.8 | 24.32 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2026年9月期中間期 | 40,699,200株 | 2025年9月期 | 40,699,200株 |
| 2026年9月期中間期 | 2,830,944株 | 2025年9月期 | 2,825,098株 |
| 2026年9月期中間期 | 37,867,252株 | 2025年9月期中間期 | 37,888,314株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会資料の入手若しくは閲覧の方法)

当社は、2026年5月28日(木)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、TDnetで本日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) | 9 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費は引き続き物価上昇の影響を受けつつも、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな持ち直しが見られました。企業収益においては、円安や資源価格の変動、労働コストの上昇などの影響が続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

国内IT市場においては、企業のDX推進や業務効率化への需要が継続しており、IT投資が活発に行われることから、今後も安定した拡大基調になると予測しております。

このような状況のもと、当社は、企業価値向上と持続的な成長を推し進めていくためには優秀な人材確保による開発力及び信用力の強化が不可欠と考え、プライム市場が求める「流通株式時価総額100億円以上」の基準の充足を目指し、グループ全体で企業価値向上に取り組んでまいりました。

企業価値や業績、EPS向上への取組みへのご理解を深めていただくため、当社では機関投資家、個人投資家の皆様との対話を重視し、説明会やIR・PRの積極的な情報発信等に努めております。

2026年9月期においても新たな役員体制のもと、引き続きプライム市場の上場基準を充たせるよう企業価値向上プロジェクト「ValueCreationProject」に取り組んでおります。

具体的には、ITアウトソーシング、マイグレーション開発、AIといった注力分野における業績拡大を図るとともに、株主還元の強化や積極的なIR活動等、多角的な施策を展開しております。

また、資本業務提携及び業務提携においては、受注や販路の拡大といった成果が確実に出ております。

2026年2月には、ESET セキュリティパートナープログラム（ESPP）における「ESPP認定パートナー」としてキヤノンITソリューションズ株式会社より認定を受けました。業務提携を基軸に、当社のセキュリティ体制・提供力のさらなる強化に向けて取り組んでおります。

サービスラインの状況といたしましては、「業務系システム開発」は生保・流通サービス・自治体・文教関連等の案件が堅調に進捗し前年同期比3.2%増となりました。また引き続き入札案件への参画を強化し、新規受注機会の拡大に取り組みました。

「IT基盤」は構築、運用案件の一部が縮小したものの、既存案件の継続によって売上を確保し、全体では前年同期比3.7%増となりました。2025年11月にサービス強化を目指して「テスト支援サービス」を提供開始したソフトウェアテストは、前年同期比45.3%増と引き続き拡大しております。

「ソリューション」は、好調に推移した前期に引き続き、独自のソリューションやサービスの提供により他社との差別化に注力し前年同期比3.9%増となりました。さらに、長崎大学との産学共同研究開発による生成AIを活用した医療系AIソリューション「AI医師スケジューリング」を2026年1月から提供開始いたしました。注力分野であるマイグレーション開発においては、新たにローコード技術を活用したマイグレーション開発ソリューション「MigrationLC」を2026年4月から提供開始しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は5,206,433千円（前年同期比3.4%増）、売上総利益は1,280,870千円（前年同期比6.9%増）となりました。前年下期から開始した株主優待の関連費用172,785千円を当中間連結会計期間に計上したことにより、販売費及び一般管理費は672,050千円（前年同期比44.9%増）となりました。これにより、営業利益は608,819千円（前年同期比17.1%減、営業利益率11.7%）、経常利益は621,861千円（前年同期比16.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は406,130千円（前年同期比17.2%減）となりました。

当中間連結会計期間の売上高および各利益は、第2四半期連結累計期間の業績予想を上回って推移しております。

また、株主優待関連費用を除いた実質ベースでは、営業利益は781,604千円（前年同期比6.4%増）、経常利益は794,646千円（前年同期比7.0%増）となります。

なお、当社グループは情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

当中間連結会計期間における事業のサービスライン別の売上高を示すと、次のとおりであります。

| 事業のサービスライン | 売上高（千円） | 構成比（%） | 前年同期比（%） |
|------------|-----------|--------|----------|
| 業務系システム開発 | 3,495,962 | 67.1 | 103.2 |
| IT基盤 | 790,093 | 15.2 | 103.7 |
| ソリューション | 920,377 | 17.7 | 103.9 |
| 合 計 | 5,206,433 | 100.0 | 103.4 |

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は6,455,666千円となり、前連結会計年度末と比較して57,694千円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が36,895千円増加、前払費用が34,527千円増加した一方、現金及び預金が60,689千円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が57,331千円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は1,700,115千円となり、前連結会計年度末と比較して40,190千円の減少となりました。これは主に、買掛金が40,371千円増加、賞与引当金が15,968千円増加した一方、未払法人税等が97,210千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は4,755,550千円となり、前連結会計年度末と比較して17,504千円の減少となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が25,598千円増加した一方、利益剰余金が48,358千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて9,854千円減少し、2,751,946千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は450,957千円となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益626,521千円、売上債権及び契約資産の減少額57,331千円、仕入債務の増加額40,371千円等によるキャッシュ・フローの増加と、法人税等の支払額352,199千円等によるキャッシュ・フローの減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は2,291千円となりました。

これは主に、ゴルフ会員権の売却による収入8,318千円、敷金及び保証金の回収による収入8,000千円等によるキャッシュ・フローの増加と、無形固定資産の取得による支出15,381千円等によるキャッシュ・フローの減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は458,520千円となりました。

これは主に、配当金の支払額454,218千円等によるキャッシュ・フローの減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年11月11日の「2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年9月30日) | 当中間連結会計期間 (2026年3月31日) |
|----------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,760,544 | 2,699,855 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 2,253,475 | 2,196,144 |
| 商品 | 1,568 | 11,093 |
| 前払費用 | 62,476 | 97,003 |
| その他 | 6,283 | 56,882 |
| 貸倒引当金 | △236 | △241 |
| 流動資産合計 | 5,084,111 | 5,060,737 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 58,261 | 58,261 |
| 減価償却累計額 | △16,894 | △18,983 |
| 建物及び構築物（純額） | 41,367 | 39,277 |
| 器具及び備品 | 57,555 | 63,237 |
| 減価償却累計額 | △42,167 | △45,923 |
| 器具及び備品（純額） | 15,387 | 17,313 |
| 土地 | 10,347 | 10,347 |
| 有形固定資産合計 | 67,101 | 66,938 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 39,833 | 63,042 |
| ソフトウェア仮勘定 | 16,234 | — |
| のれん | 261,919 | 238,549 |
| 顧客関連資産 | 315,957 | 297,548 |
| その他 | 418 | 412 |
| 無形固定資産合計 | 634,363 | 599,553 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 304,554 | 341,450 |
| 長期前払費用 | 42,362 | 31,201 |
| 繰延税金資産 | 162,948 | 151,651 |
| 敷金及び保証金 | 137,698 | 127,571 |
| 保険積立金 | 76,547 | 76,547 |
| その他 | 3,673 | 15 |
| 投資その他の資産合計 | 727,784 | 728,436 |
| 固定資産合計 | 1,429,249 | 1,394,929 |
| 資産合計 | 6,513,361 | 6,455,666 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2025年9月30日) | 当中間連結会計期間 (2026年3月31日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 396,524 | 436,896 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6,726 | 5,712 |
| 未払金 | 330,728 | 344,872 |
| 未払費用 | 10,784 | 10,538 |
| 未払法人税等 | 352,163 | 254,952 |
| 未払消費税等 | 117,490 | 125,218 |
| 契約負債 | 11,885 | 9,742 |
| 預り金 | 48,896 | 46,244 |
| 賞与引当金 | 304,320 | 320,289 |
| 役員賞与引当金 | 11,810 | 5,896 |
| 流動負債合計 | 1,591,329 | 1,560,362 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 23,578 | 20,722 |
| 退職給付に係る負債 | 16,109 | 16,109 |
| 繰延税金負債 | 109,289 | 102,922 |
| 固定負債合計 | 148,977 | 139,753 |
| 負債合計 | 1,740,306 | 1,700,115 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 908,446 | 908,446 |
| 資本剰余金 | 796,409 | 799,258 |
| 利益剰余金 | 3,758,173 | 3,709,814 |
| 自己株式 | △798,845 | △796,094 |
| 株主資本合計 | 4,664,185 | 4,621,425 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 98,790 | 124,388 |
| その他の包括利益累計額合計 | 98,790 | 124,388 |
| 非支配株主持分 | 10,079 | 9,736 |
| 純資産合計 | 4,773,055 | 4,755,550 |
| 負債純資産合計 | 6,513,361 | 6,455,666 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 5,034,107 | 5,206,433 |
| 売上原価 | 3,835,867 | 3,925,562 |
| 売上総利益 | 1,198,239 | 1,280,870 |
| 販売費及び一般管理費 | 463,855 | 672,050 |
| 営業利益 | 734,383 | 608,819 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 961 | 2,809 |
| 受取配当金 | 5,552 | 4,050 |
| 助成金収入 | 10,000 | 7,540 |
| 保険解約返戻金 | — | 1,900 |
| 雑収入 | 459 | 678 |
| 営業外収益合計 | 16,973 | 16,979 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 214 | 169 |
| 株式報酬費用消滅損 | 7,602 | 3,445 |
| 雑損失 | 616 | 322 |
| 営業外費用合計 | 8,433 | 3,937 |
| 経常利益 | 742,923 | 621,861 |
| 特別利益 | | |
| ゴルフ会員権売却益 | — | 4,660 |
| 特別利益合計 | — | 4,660 |
| 税金等調整前中間純利益 | 742,923 | 626,521 |
| 法人税等 | 249,718 | 220,301 |
| 中間純利益 | 493,204 | 406,219 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 2,707 | 89 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 490,496 | 406,130 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日) |
|----------------|---|---|
| 中間純利益 | 493,204 | 406,219 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 44,409 | 25,598 |
| その他の包括利益合計 | 44,409 | 25,598 |
| 中間包括利益 | 537,614 | 431,818 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 534,906 | 431,728 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 2,707 | 89 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 742,923 | 626,521 |
| 減価償却費 | 37,895 | 34,469 |
| のれん償却額 | 27,074 | 23,370 |
| 差入保証金償却額 | 2,095 | 2,127 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 167 | 5 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △25,163 | 15,968 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △5,970 | △5,913 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △523 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △6,513 | △6,859 |
| 支払利息 | 214 | 169 |
| 助成金収入 | △10,000 | △7,540 |
| 保険解約返戻金 | — | △1,900 |
| ゴルフ会員権売却損益 (△は益) | — | △4,660 |
| 売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加) | △244,216 | 57,331 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △8,520 | △10,174 |
| 長期前払費用の増減額 (△は増加) | 15,812 | 11,160 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △9,098 | △28,044 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 94,339 | 40,371 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △10,683 | 7,728 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 19,213 | 32,895 |
| 小計 | 619,046 | 787,026 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6,513 | 6,859 |
| 保険金の受取額 | — | 1,900 |
| 利息の支払額 | △214 | △169 |
| 助成金の受取額 | 10,000 | 7,540 |
| 法人税等の支払額 | △233,224 | △352,199 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 402,121 | 450,957 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,799 | △3,229 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △8,603 | △15,381 |
| ゴルフ会員権の売却による収入 | — | 8,318 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | — | 8,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △12,403 | △2,291 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,870 | △3,870 |
| 自己株式の取得による支出 | △16 | — |
| 配当金の支払額 | △340,933 | △454,218 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △1,134 | △432 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △345,953 | △458,520 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 43,764 | △9,854 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,097,994 | 2,761,801 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,141,759 | 2,751,946 |

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、ソフトウェア開発を中心とした情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。